



三春中学校だより

第2号

発行日 平成30年 4月 9日

発行所 三春町立三春中学校

電話 0247-62-2181 F A X 0247-62-6978

E-mail miharu-j@fcs.ed.jp

【教育目標】『三春に暮らす生徒一人ひとりに、将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては、国際社会に貢献できる人材を育てる』

【平成30年度はこれでいきます！ ～学校経営ビジョンをお知らせいたします。～】

以下にお示しいたしたものは、平成30年度の『学校経営ビジョン』です。30年度をどのような心構えをもって、どのようなことに取り組んでいくかについてまとめたものです。

特徴は、全体を一つの家のような形にしたこと、学校が、子どもたちと先生方との信頼関係という土台、そして、安全・安心という支えにのって建てられています。学校が一つの家族・チームでありたいという願いを形にしました。また、真ん中をだ円形で結んでみました。勉強、道徳、生き方学習、望ましい集団、健康・安全など、子どもたちにはバランスのよい学びと、全人的な成長を促していこうという気持ちの現れです。

平成30年度は、このようなビジョンで、教職員団、そして、学校と保護者・地域のみなさんと共に、密にコミュニケーションを図りつつ、家族として、チームとして三春中学校づくりに取り組んでまいりたいと存じますので、ご理解・ご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。



【安心して任せられます！ ～すばらしい子どもたちや先生方と共に。～】



4月5日(木)は、朝から、翌日に控えた平成30年度の入学式の式場・会場準備の日でした。3年生は体育館の式場作成を中心に、2年生は校舎内など、それ以外の会場作成を中心に取り組みました。全体での指示を担当の教員より受けた後、それぞれの分担にしたがって、一生懸命準備に取りかかりました。理科室では、吹奏楽部のみなさんが、入学式当日の歓迎の演奏の準備もして、全体で新入生を歓迎しようという気持ちの中での活動でした。来賓控え室準備担当の2年生と一緒に掃き掃除をしたり、準備の様子を見て回ったりして、この子どもたちなら、先生方なら『任せて大丈夫!』と

いう実感を強くもつ機会となりました。2・3年生、そして、新入生のますますの活躍を期待します。

【三春にも花咲き乱れる春がきました！ ～梅、桜、水仙、芝桜、さまざまな野の花も。～】

ついこの間まで枝の先には堅いつぼみが見られましたが、年度末、年度はじめの仕事に取り組むうちに、いつの間にか、木々や草花は芽吹き、開花の準備を進め、入学式には、さまざまな花々が景色を飾るようになりました。梅・桃・桜の共演とはいきませんでした。学校周辺でも、美しく着飾った木々が見られ、三春中学校にも間違いなく春がやってきました。

『命の輝き』～共に、ひたむきに、そして、こころ豊かに～という学校経営方針ですが、春の桜というといつも思い出すのが、国語の教科書に載っていた、桜色に布を染める染織家のお話です。桜色の染色は、その花びらではなく、花の咲く直前の樹皮を使ってきれいな桜色に染色するのだそうです。桜というときれいな花びらだけが注目されますが、実は、あのきれいな桜の花びらの色は、桜の木全体からたらされた色だというお話です。

4月6日にスタートした第1学期(前期)。子どもたちはいろいろな色の花を咲かせることでしょう。その花に注目しつつも、その生徒その生徒一人ひとりの全体をきちんと見て、認め、励ましていきたいと思います。今年度もどうぞよろしくお願ひいたします。



【始業式で生徒にこんなことを伝えました！ ～ひたむきさところの豊かさ～】

…新たな三春中学校の歴史の1ページを刻む、平成30年度が始まります。それぞれの学年に進級したみなさん、これまでよくがんばりました。そして、それぞれの学年への進級、おめでとうございます。新たな三春中学校の歴史は、みなさんの両肩にかかっています。…そのスタートにあたり、まず、第一に考えていただきたいこと、確認しておきたいこと、それは、言うまでもなく、三春中学校で生活する一人ひとりの『命』というものを大切にしたい。『命』のかけがえのなさやその重みを常に意識した生活をしてほしいということです。学校や教室という『公共の場』で、一人ひとりのみなさんの命を輝かせると共に、同じくらい、他の人の気持ちや立場を大切にしたい学校生活を心がけていきましょう。それが、すべての三春中学校の生徒が安全・安心な中で学校生活を送るための基本となります。コミュニティーガーデンに掲げられたためぎす生徒像『忠恕』のもと、三春中学校の生徒一人ひとりのこころがけです。…次にお話したいことは、学校という場は、自分で自分を、自立した大人へと育て上げていく、大切な学びの場であるということです。みなさんは、これからの『繰り返し』や『積み重ね』次第で、将来、社会で自立して、生き生きと命を輝かせながら生活していける人に成長することができます。しかし、成長過程のみなさんは、まだ、知らないこと、経験したことのないことが山積みです。自分が知らないということを自覚し、わからないことは必ず調べ、人に聴く、友達との教え合い、学び合いに努め、友達と共に成長していくことが大切です。先生方には、『子どもたちの質問にしっかり答えてください、授業の中に、教え合い、学び合う機会を取り入れてください。』とお話しました。…三つ目のためぎす生徒像は『必達』です。昨年度の卒業式、45名の卒業生に『皆勤賞』を手渡すことができました。…三春中学校の『皆勤賞』は、登校するだけでなく、今日もしっかり勉強しようという気持ちで、先生方が準備した学習などに一生懸命取り組み、それが3年間継続できた者に伝達される、とても重い賞です。よりよい『学び』、質の高い『学び』を追い求め、卒業式のときは、満足感・充実感・達成感をもって、『三春中学校でよかった。』という思いで『皆勤賞』を受け取れるようがんばりましょう。…さて、みなさんには、昨年度末の修了式で、『20のがんばり』というお話をしました。それらは、みなさんの中の誰かが、ひたむきに、こころ豊かに、続けてきた『がんばり』でした。みなさんはいくつ指を折ることができたでしょうか。平成30年度、それを、『命の輝き』と呼びたいと思います。どんなものでもいい、どんな些細なことでもいい、三春中学校の生活の中で、『自分にはこれがある』というもの、『命の輝き』を中学校生活の中で見つけ、育てていってほしいと思います。…しかし、がんばっても成果が出ず、疲れてしまったときは、先生や友達に、「助けて。」「うまくいかないんだ。」と相談してみてください。そう言えるようになることも大切な勉強です。そして、相談すれば、必ず、先生や相手の人は応えてくれます。そうすることで、相談した方も、された方も、『共に』成長していけます。みなさんは、決して一人ではありません。…